

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-504572 (P2005-504572A)

【公表日】平成 17 年 2 月 17 日 (2005.2.17)

【年通号数】公開・登録公報 2005-007

【出願番号】特願 2003-531877 (P2003-531877)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/04

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 14 日 (2005.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

互いに対して移動可能な第 1 ジョー及び第 2 ジョーと、
前記第 1 ジョーにより支持され、縫合糸を支持するようになった屈曲可能針と、
を備え、
前記針は、該針が前記ジョー内に実質的に収められる第 1 位置と該針の遠位側部分が前記第 1 ジョーから突出する第 2 位置との間で移動可能であり、
前記縫合糸を、前記屈曲可能針により支持される前に所定の位置に固定するための手段が設けられた、
ことを特徴とする縫合装置。

【請求項 2】

前記固定手段が、前記第 1 ジョーの遠位側部分に含まれる片持ちばねを備えることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記固定手段が、前記第 1 ジョーの遠位側部分に形成された溝からなることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記第 1 ジョーから離間して配置され、前記屈曲可能針により支持される前記縫合糸を外すように構成された縫合糸受け部をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記縫合糸受け部が、少なくとも 1 つのフラップを備えることを特徴とする請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記縫合糸受け部が、エストラマー・パッドを備えることを特徴とする請求項 4 に記載の装置。

【請求項 7】

前記第 1 ジョーが軸線を定め、前記屈曲可能針を前記軸線に全体的に平行ではない方向に案内するようになった転換ブロックをさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 8】

進入部を定める第 1 ジョーと、

前記第 1 ジョーに対して移動可能な第 2 ジョーと、

前記第 1 ジョーにより支持され、近位位置と遠位位置との間で移動可能な屈曲可能針と

を備え、

前記針には針スロットが形成され、前記針スロットは、前記進入部を通して縫合糸を該針スロット内に装填することを可能にするように該進入部と位置合わせできることを特徴とする縫合装置。

【請求項 9】

前記第 2 ジョーに隣接して配置された縫合糸受け部をさらに備えることを特徴とする請求項 8 に記載の装置。

【請求項 10】

前記第 2 ジョーが、一体の縫合糸受け部をさらに備えることを特徴とする請求項 8 に記載の装置。

【請求項 11】

前記屈曲可能針に連結され、該屈曲可能針を前記近位位置と前記遠位位置との間で移動させるように構成されたアクチュエータをさらに備えることを特徴とする請求項 8 に記載の装置。

【請求項 12】

前記アクチュエータが親指レバーを備えることを特徴とする請求項 11 に記載の装置。

【請求項 13】

前記第 1 ジョーが、軸線を定め、前記進入部と連通した軸線方向のスロットをさらに備えることを特徴とする請求項 8 に記載の装置。

【請求項 14】

前記進入部が横方向の開口部からなり、

前記針スロットが横方向のスロットからなる、

ことを特徴とする請求項 8 に記載の装置。

【請求項 15】

前記第 2 ジョーが、少なくとも 1 つのフックを備えることを特徴とする請求項 8 に記載の装置。

【請求項 16】

前記針スロットが前記屈曲可能針の第 1 側面上に配置され、

前記屈曲可能針が前記第 1 側面とは反対側の第 2 側面をさらに備える、

ことを特徴とする請求項 8 に記載の装置。

【請求項 17】

前記屈曲可能針が、前記第 2 側面上に形成された少なくとも 1 つの三日月形部をさらに備えることを特徴とする請求項 16 に記載の装置。

【請求項 18】

前記屈曲可能針が、前記第 1 側面とほぼ平行に延びる針の軸線を定め、

前記屈曲可能針が、前記ノッチの遠位側において前記第 1 側面上に配置された遠位側レッジと、該ノッチの近位側において該第 1 側面上に配置された近位側レッジとを備え、

前記遠位側レッジが前記針の軸線からの第 1 の横方向距離を定め、前記第 1 の横方向距離が、前記近位側レッジにより定められる前記針の軸線からの第 2 の横方向距離より大きい、

ことを特徴とする請求項 16 に記載の装置。

【請求項 19】

互いに対して移動可能な第 1 ジョー及び第 2 ジョーと、

前記第 1 ジョーから離間して配置され、縫合糸を釈放可能に保持するようになった縫合糸受け部と、

前記第１ジョーにより支持され、近位位置と遠位位置との間で移動可能な屈曲可能針と、
を備え、前記屈曲可能針は、該針が前記遠位位置にあるときに前記縫合糸に係合するようになった針の遠位側部分を有することを特徴とする縫合糸引き戻し装置。

【請求項２０】

前記第２ジョーが、前記縫合糸受け部を備えることを特徴とする請求項１９に記載の装置。

【請求項２１】

前記針の遠位側部分がフックを備えることを特徴とする請求項１９に記載の装置。